

日本フランス語フランス文学会

2025 年度春季大会

2025 年 5 月 31 日 (土)・6 月 1 日 (日)

会 場：青山学院大学青山キャンパス17号館 〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

大会本部：青山学院大学文学部フランス文学科合同研究室

mail : t61015@aoyamagakuin.jp

- 学内に駐車・駐輪スペースはありません。■お問い合わせはメールでお願いいたします。
- 大会費の支払いは、6 ページの案内に従い、**5月23日(金)**までに Peatix でチケットをご購入ください。
- 懇親会に参加ご希望の方は、6 ページの案内に従い、**5月19日(月)**までに Peatix でチケットをご購入ください。
- 大会参加にあたり、招請状の必要な方は学会事務局までご請求ください。
- 委員会・役員会につきましては、各委員長・幹事長よりご連絡いたします。

大会費：1,000 円

昼 食：5 月 31 日 (土)・6 月 1 日 (日) とともに、会場周辺の飲食店が営業しておりますので、お弁当の用意はございません。

■一般控室：5 月 31 日 (土) は 17 号館 5 階 17511 教室、6 月 1 日 (日) は 17 号館 3 階 17310 教室。

■賛助会員展示会場：5 月 31 日 (土)・6 月 1 日 (日) とともに、一般控室と同じ。

第1日 5月31日(土)

会場 17 号館 5 階・6 階

委員会 9:00~10:00

幹事会・役員会 10:30~11:30

受付 11:30~17:00 17 号館 5 階 学生ラウンジ 2

開会式 12:10~12:25 17 号館 6 階 本多記念国際会議場

司会 福田 美雪 (青山学院大学)

開会の辞 濱野 耕一郎 (青山学院大学)

会長挨拶 小倉 孝誠 (慶應義塾大学)

研究発表会 第1部 12:40~14:40

第2部 14:50~16:50

17 号館 5 階 17510 教室/17512 教室

特別講演 1 17:05~18:15 17 号館 6 階 本多記念国際会議場

Martial Poirson (Université Paris-VIII-Vincennes-Saint-Denis)

« Dans la langue de Molière :

La fabrique d'un écrivain national dans le monde » (XVII-XXIe siècle)

司会 秋山 伸子 (青山学院大学)

懇親会 19:15~21:15 (18:45 受付開始)

会場：THE THEATRE TABLE (渋谷ヒカリエ 11F)

会費：正会員 (A・B)、賛助会員：8,000 円

学生会員：4,000 円

第2日 6月1日(日)

会場 17 号館 3 階・4 階

受付 8:30~15:30 17 号館 3 階 学生ラウンジ 2

ワークショップ 9:00~11:00

1 La littérature et le droit, vers un nouvel horizon

17 号館 4 階 17410 教室

2 ズボンをめぐる女たちの闘い

17 号館 3 階 17311 教室

3 仏領アルジェリアの記憶と文学

17 号館 4 階 17409 教室

4 21 世紀にジャン・ジロドゥを再読するためのいくつかの視点

17 号館 4 階 17411 教室

シンポジウム 11:10~13:10

17 号館 3 階 17309 教室

フランス文学の受容と共有：『ふらんす』100 周年を機に

鹿島 茂 (明治大学)、澤田 直 (立教大学)、

倉方 健作 (九州大学)、鈴木 美登里 (白水社)

特別講演 2 14:00~15:10

17 号館 3 階 17311 教室

Guillaume Bridet (Université Sorbonne-Nouvelle)

« D'une histoire nationale à une histoire mondiale de la littérature française »

司会 根木 昭英 (上智大学)

総 会 15:30~17:00 17 号館 3 階 17309 教室

議長 谷口 亜沙子 (明治大学)

閉会式 17:00~17:15 17 号館 3 階 17309 教室

会長挨拶 小倉 孝誠 (慶應義塾大学)

閉会の辞 和田 恵里 (青山学院大学)

研究発表会 プログラム 5月31日(土)

	17号館 17510教室 分科会Ⅰ	17号館 17512教室 分科会Ⅱ
第1部 (12:40-14:40) ① 12:40～ ② 13:20～ ③ 14:00～	司会：古賀健太郎（青山学院大学） ① 接続法と直説法の叙法選択における主張の性質についての再考—言語哲学の立場から 井上大輔（上智大学博士課程満期退学） 司会：久保田剛史（青山学院大学） ② ルネサンス期における「自己愛」 —エラスムスとモンテーニュ— 山本佳生（大阪大学／日本学術振興会特別研究員PD） 司会：倉方健作（九州大学） ③ 近代フランスにおける翻訳史の試み 菊田怜央（東京大学大学院博士課程）	司会：八幡恵一（関東学院大学） ① アランにおける神と宗教の問題 田伏也寸志（京都大学大学院博士後期課程／日本学術振興会特別研究員） ② シモンドンに対する2つの言及—ドゥルーズとスティグレールの個体化論の変奏に対する注釈 堀江郁智（東洋大学非常勤講師） 司会：郷原佳以（東京大学） ③ 《ノンバイナリーなエクリチュール [écriture non-binaire]》を求めて—サラ・コフマンによる自伝的エクリチュールが切り開く地平— ファオル入江容子（甲南大学専任講師）
第2部 (14:50-16:50) ① 14:50～ ② 15:30～ ③ 16:10～	司会：永井敦子（上智大学） ① テクネーとエピステーメーの結節点—初期映画に詩の争点をみた詩人たちにおけるポエジー 和田雅人（東京大学大学院博士後期課程） 司会：吉本素子（早稲田大学） ② 沈黙のインクールネ・シャルの『激情と神秘』における沈黙の両義性 勝山絵深（明治学院大学非常勤講師） 司会：高塚浩由樹（日本大学） ③ アルベール・カミュのアナーキズムと「王国」 吉岡亮祐（青山学院大学助手）	司会：木内堯（名古屋外国語大学） ① ミシェル・ウエルベックにおける並置 juxtaposition について—『地図と領土』を中心に 八木悠允（東京都立大学非常勤講師） 司会：佐々木匠（明治大学） ② アブデラ・タイア『涙の要塞』における夢見るユセフとその不可能な許し 安達孝信（名城大学准教授）

- ひとつの発表につき30分程度（発表20～25分＋質疑応答5～10分）とし、各発表の間に5分程度のポーズを設けています。分科会が定時に開始・終了できるようにご協力ください。
- 2024年度より、学会誌が完全投稿制に移行したことに伴い、以下の点にご注意ください。
 - 学会誌編集委員による聴取・採点は行われなくなります。
 - 司会による「学会ニュース」での報告は行われます。
 - 発表者は、質疑応答の時間以外にも、聴衆からのフィードバックを受けるために、（1）配布資料に自分のメールアドレスを掲載しておく、（2）アンケートフォームのリンクへのQRコードを掲載する、（3）コメント用紙等を自分で配布して回収する等、自由に工夫をしていただけます。

特別講演 ・ シンポジウム ・ ワークショップ

特別講演1 5月31日(土) 17:05~18:15

17号館6階 本多記念国際会議場

司会：秋山伸子（青山学院大学）

Dans la langue de Molière :
La fabrique d'un écrivain national dans le monde (XVII-XXIe siècle)
Martial Poirson (Université Paris-VIII-Vincennes-Saint-Denis)

La vie de Molière a suscité de nombreuses légendes d'une puissance symbolique exceptionnelle, en raison de la rareté des archives, des points aveugles de son existence et des mythes qu'il a inspirés dès son vivant, à ses partisans comme à ses détracteurs. Elles se sont perpétuées dans le discours savant, les médias, les arts et surtout à l'école. La survivance de ces idées fausses d'une étonnante longévité a altéré la lecture d'une œuvre souvent réduite à des raccourcis biographiques qui ont durablement infléchi la réception de ce théâtre jusqu'à nos jours, à la faveur de contre-sens historiques et d'anecdotes contre-factuelles.

Cette conférence propose l'archéologie de mythes récurrents, précisant leurs motivations, leurs arguments de réfutation et leurs biais de lecture : l'artiste bohème, le prête-nom de Corneille, l'intime de Louis XIV, le mari trompé, le père incestueux, le comédien mort sur scène puis enterré sans sépulture... Ils sont mis en regard avec les œuvres de Molière, auxquelles ils proposent des perspectives d'interprétation inattendues. Ce sont autant de coups de sonde dans les textes connus et moins connus du plus populaire des auteurs classiques, qui se révèle, à la lecture, moins canonique qu'on pourrait le penser. Un éclairage qui révèle une langue d'une stupéfiante modernité et une intelligence politique d'une actualité demeurée intacte.

À l'heure des *fake news* et de l'*infox*, ce salubre exercice de déconstruction est une incitation à décaper le mythe afin d'extraire du récit national celui qu'on considère comme notre grand écrivain français.

特別講演2 6月1日(日) 14:00~15:10

17号館3階 17311 教室

司会：根木昭英（上智大学）

D'une histoire nationale à une histoire mondiale de la littérature française
Guillaume Bridet (Université Sorbonne-Nouvelle)

Cette conférence propose une réflexion sur le cadre à la fois national et linéaire dans lequel s'écrit l'histoire de la littérature française depuis son institutionnalisation scolaire et universitaire dans les années 1870 et sur la possibilité d'envisager d'autres types de récits : récits à d'autres échelles (régional, continental, mondial, et selon diverses catégories), récits qui bifurquent et se multiplient. L'objectif est de mettre au cœur du récit de la littérature française les multiples interactions, connexions et échanges qu'elle entretient, d'un côté, avec les littératures dites francophones, et, de l'autre, avec les littératures étrangères. En partant de la grande séparation institutionnelle des années 1920 entre littérature française et littérature comparée, on observera ses effets dans les histoires littéraires publiées des années de l'entre-deux-guerres jusqu'à aujourd'hui, on présentera les alternatives récentes proposées par certains chercheurs en littérature et on fera des propositions impliquant une nouvelle poétique de l'histoire littéraire. Ces propositions seront appuyées sur des exemples précis (figures, catégories, textes, auteurs, dates, lieux, institutions, etc.) qui constituent autant de configurations diverses et qui ébauchent l'écriture d'une histoire mondiale de la littérature française.

シンポジウム 6月1日(日) 11:10~13:10	
17号館3階 17309 教室	
フランス文学の受容と共有：『ふらんす』100周年を機に 鹿島茂（明治大学）、澤田直（立教大学） 倉方健作（九州大学）、鈴木美登里（白水社）	
本年 2025 年は、雑誌『ふらんす』の創刊 100 周年にあたる。フランス語とフランス文学を扱う同誌は、1925 年 1 月号から現在に至るまで、専門研究者と一般読者を結ぶ場でもあり続けている。その歩みは、戦前においては旧制大学での仏文専攻の興隆、旧制高校等でのフランス語教育の充実とともにあり、また戦後は日本におけるフランス語・フランス文化発信の担い手として、1946 年設立の「フランス文学会」、現在の「日本フランス語フランス文学会」（1962 年設立）と表裏一体の存在であったと言っても過言ではない。 本シンポジウムにおいては、雑誌の 100 年の歩みを振り返るとともに、その背景となる日本におけるフランス文化の受容とアカデミズムの形成、またこれまでの多彩な連載・執筆者について、4 人のパネリストがそれぞれの視点から話をする。適宜、パネリスト間での対話もおこなうとともに、読者・執筆者として『ふらんす』に関わってきた参加者にも会場でアンケートを実施し、可能であればコメントを求め、より開かれた場としたい。100 周年を迎える雑誌の過去と現在、未来を語りつつ、専門研究を一般読者に届けるアウトリーチのあり方を再考する場となることを期待している。	

ワークショップ 6月1日(日) 9:00~11:00	
① La littérature et le droit, vers un nouvel horizon 17 号館 4 階 17410 教室 コーディネーター・パネリスト：梅澤礼（明治学院大学） パネリスト：Marc Renneville (CNRS), Maki Fukuda (Université de Kobe)	③ 仏領アルジェリアの記憶と文学 17 号館 4 階 17409 教室 コーディネーター・パネリスト：竹内修一（北海道大学） パネリスト：大嶋えり子（慶應義塾大学）、青柳悦子（筑波大学）、鶴戸聡（明治大学）
② ズボンをめぐる女たちの闘い 17 号館 3 階 17311 教室 コーディネーター・パネリスト：吉川佳英子（愛知工業大学） パネリスト：新實五穂（お茶の水女子大学）、村田京子（大阪府立大学）、西尾治子（日仏女性研究学会代表）	④ 21 世紀にジャン・ジロドゥを再読するためのいくつかの視点 17 号館 4 階 17411 教室 コーディネーター・パネリスト：間瀬幸江（宮城学院女子大学） パネリスト：田ノ口誠悟（静岡文化芸術大学）、中江太一（Sorbonne Université/東京大学）、Vincent Brancourt（慶應義塾大学）

※ ワークショップの要旨については要旨集をご覧ください。

研究会 5月31日(土) 10:00- 12:00

5階	17501	日本プルースト研究会
5階	17502	日本マラルメ研究会
5階	17503	フローベール研究会
5階	17504	日本スタンダール研究会
5階	17505	日本ジョルジュ・サンド研究会
5階	17506	日本フランス語学会
5階	17507	ラブレー・モンテーニュ・フォーラム
5階	17508	バルザック研究会
5階	17509	18世紀フランス研究会
6階	17602	自然主義文学研究会
6階	17603	日本ヴァレリー研究会
6階	17606	バタイユ・ブランショ研究会
6階	17607	日本クロードル研究会
6階	17608	日本カミュ研究会

委員会 5月31日(土)

9:00- 10:00

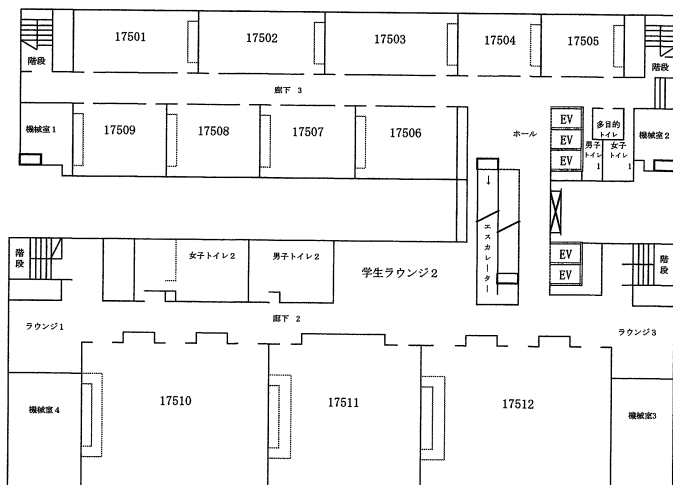
6階	17601	学会誌編集委員会
6階	17602	渉外委員会
6階	17603	広報委員会
6階	17607	研究情報委員会
6階	17608	語学教育委員会
6階	17609	学会奨励賞選考委員会

10:30- 11:30

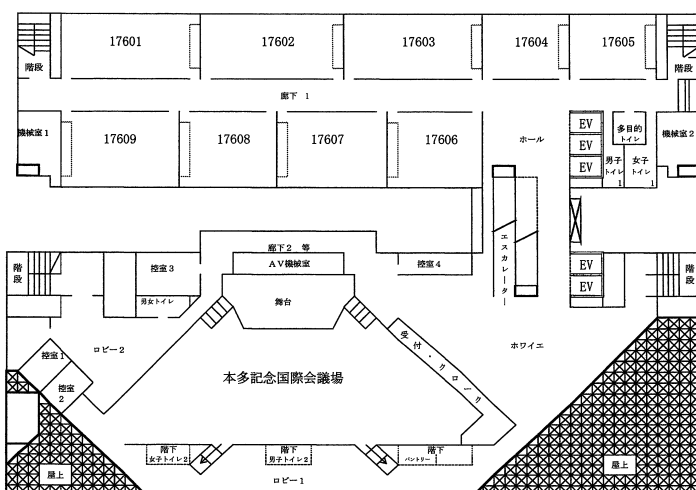
6階	17609	幹事会・役員会
----	-------	---------

5月31日(土) 17号館5階・6階

大学17号館 5階

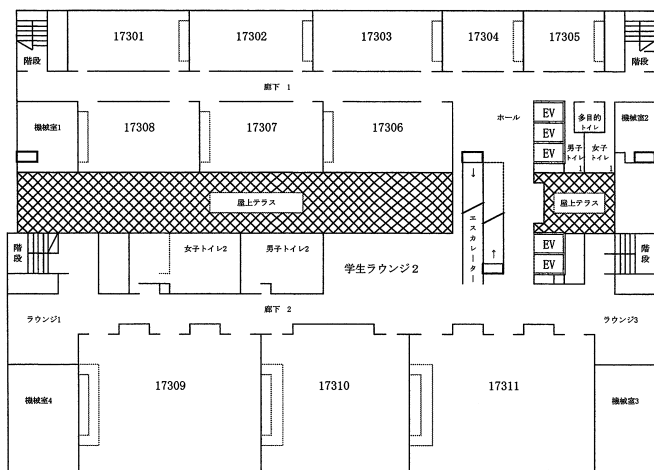


大学17号館 6階

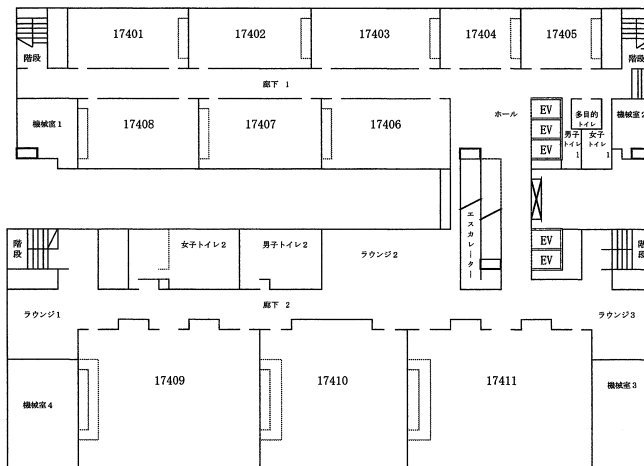


6月1日(日) 17号館3階・4階

大学17号館 3階



大学17号館 4階



大会費、懇親会参加費の支払いについて

- ・大会費、懇親会参加費ともに、以下の URL または QR コードから Peatix でチケットを購入してください。
- ・大会費のチケット購入は、**5月23日（金）まで**にお願いします。
- ・懇親会参加費のチケット購入は、**5月19日（月）まで**にお願いします。なお、会場の都合により参加可能人数が限られますので、当日の飛び入り参加はお受けできません。
- ・懇親会の会場は、THE THEATRE TABLE（渋谷ヒカリエ 11F）、日時は5月31日（土）19：15～21：15（18：45 受付開始）です。大会会場からの道順は最終ページの地図をご参照ください。

	支払期限	金額	URL	QR コード
大会費	5月23日(金)	1,000 円	https://sjllf2025agutaikaihi.peatix.com	
懇親会参加費	5月19日(月)	正会員 A・B、賛助 会員：8,000 円	https://sjllf2025soireetarifab.peatix.com	
		学生会員：4,000 円	https://sjllf2025soireetarifetudians.peatix.com	

Peatix（ピーティックス）でのご購入について

- ・「大会費」「懇親会費」（「正会員 A・B、賛助会員」、「学生会員」）のチケットをそれぞれ購入できます。当日の現金払いはお受けできません。
- ・「大会費」「懇親会費」のチケットは別々にご購入ください。なお、購入するチケットの種類を間違えないようお気を付けください。
- ・購入後のキャンセルについては、Peatix のサイト等から主催者にその旨申請していただく必要があります。また、所定のキャンセル手数料がかかります。
- ・申し込みには Peatix のアカウント（登録無料）が必要ですが、Google、X、Facebook、Apple のアカウントも使用できます。
- ・「ご確認」のページの「姓名」「表示名」には、学会の会員名簿に載っている氏名をご入力ください（名簿の表記が戸籍名と異なる方はとくにご注意ください）。アカウントの登録名はいつでもかまいません。
- ・決済方法は、「クレジットカード」、「コンビニ／ATM」（要手数料）、「paypal／銀行口座振替」の三種類の中から選ぶことができます。
- ・購入後、チケットの支払い決済ができているかどうか、「マイチケット」または「チケット購入履歴」でご確認ください。領収書は、後日、「チケット購入履歴」から「領収データ」の形で、各自、ダウンロードできます（宛名・但し書は編集できます）。手書きの領収書が必要な場合は、当日受付にお申し出ください。
- ・大会の入場時にスマートフォン等での QR コードの提示は不要ですので、アプリのダウンロードも不要です（受付にてご購入者名簿を確認いたします）。
- ・学会などの参加費徴収に Peatix を利用するケースが増えてきたため、Peatix の領収データと大会詳細ページの提出をもって、個人研究費からの「学会参加費」の支出を認める大学も多くなってきています。ご所属の機関でそうした措置が認められるかどうかは、各自ご確認ください。
- ・ご購入後のチケットを他の人に譲渡することはできません。

託児サービス

本大会では、2種類の託児サービスをご利用いただけます。

①大会会場内の託児所

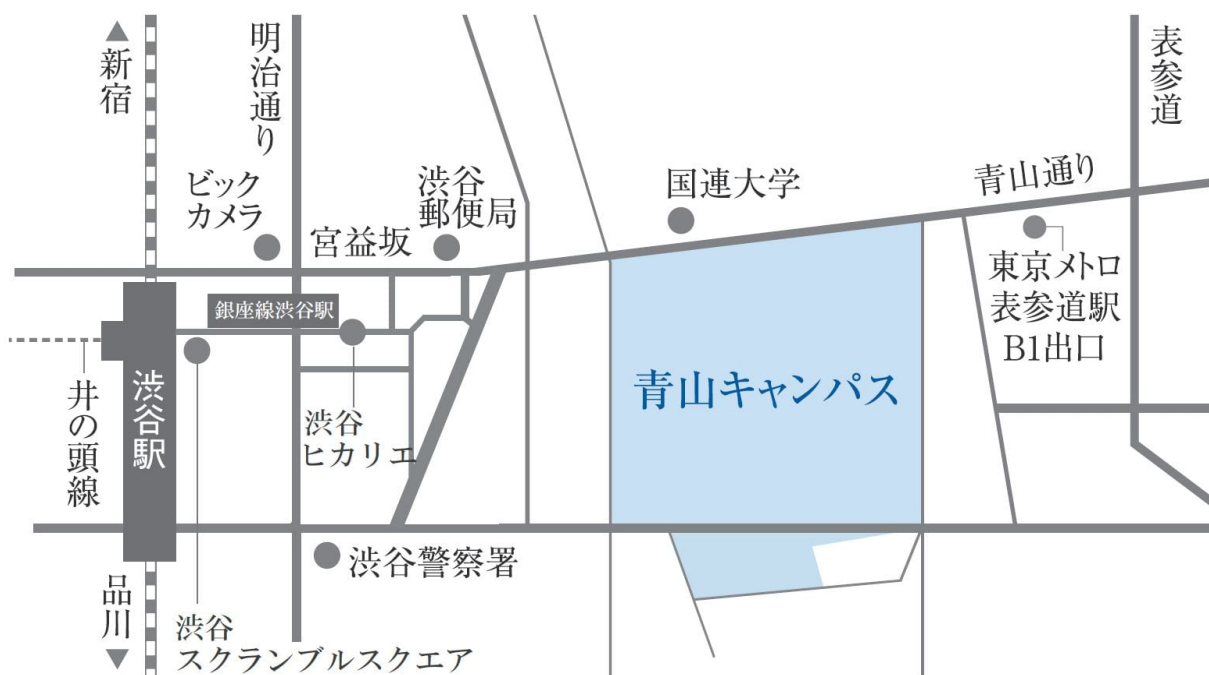
ご利用を希望される方は下記の要領でお申し込みください。

開設日時	2025年5月31日（土） 09：00-18：30 6月1日（日） 09：00-17：00
受入可能人数	若干名
受入可能年齢	原則として、生後6か月以上の乳児から未就学の幼児まで
場所	青山学院大学構内（お申込み確定後に詳細をご案内します）
委託先	miraxs（ミラクス）シッター株式会社 https://sitter.miraxs.co.jp/
利用料	1日につき3,000円（正会員A・B） / 2,000円（学生会員） 利用時間にかかわらず、同一料金です。大会当日、託児所に預ける前に受付にお申し出いただき、お釣りのないよう現金でお支払い下さい。 *オムツ、ミルク、軽食などの実費は除きます。 *やむを得ない事情での事前変更・キャンセルは直ちにご連絡ください。
申込方法	以下の申込フォーム（URL または QR コード）からお申し込みください。確定後、「お子様情報シート・同意書」ならびに利用上の注意事項等の詳細をご連絡します。 URL： https://forms.gle/JwduYnx4Up8PHwQ87 
申込締切	2025年5月9日（金） 17：00 *定員になり次第締め切りといたします。以降のお申込みまたはキャンセルのご相談については、 t24780@aoyamagakuin.jp までご連絡ください。

②託児料金の補助

①以外の託児サービスを各自でご利用された場合、子ども1人につき1日最大5,000円までの補助が学会より受けられます。学会HP（大会案内）より「託児サービス利用料補助申請書」をダウンロードしてご記入のうえ、領収書を添付して学会事務局にメールでお送りください。

会場までの交通案内：

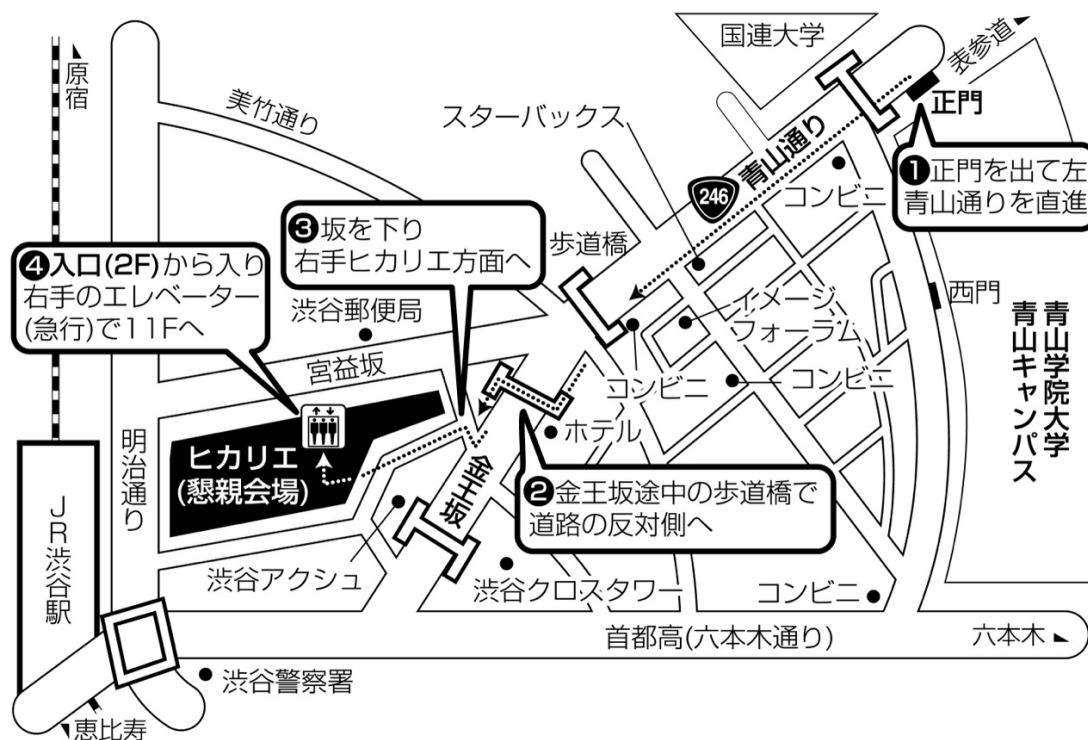


JR 山手線、JR 埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」より徒歩10分
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩5分

キャンパスマップ（青山通り沿いの正門よりお入りください）



懇親会会場：THE THEATRE TABLE（渋谷ヒカリエ11F）



※ 本大会は、日本フランス語フランス文学会と青山学院大学文学部フランス文学科が共催します。